



細田家永
ほそだ いえなが

高齢者にやさしい町づくり懇談会 ふれあいセンターはどうする

問 8月にふれあいセンターの耐震診断結果が出る。と聞いていたがその結果は。

答 福祉課長 1S値0.6未満で要補強という結果となった。

問 以前議会で2年間継続し、建て替えを検討と回答があったが、その結果を受けてどのような方針になったか。

答 福祉課長 事業継続には3案考えている。①耐震補強工事を行い、継続する案。②移転、新築案。③既存施設を借用する代替施設案。これらを軸に公共施設マネジメント基本方針など町の政策、財政状況を勘案し、住民の皆様のご意見を伺いながら方針を出していきたい。

問 この3案について、住民の方を含めた検討委員会を立ち上げる予定はあるか。

答 福祉課長 今年度、高齢者施策全般についてご意見を伺う「高齢者にやさしい町づくり懇談会」を立ち上げて設置に向けた準備を進めている。懇談会ではワーキングチームを立ち上げる予定だが、そこでふれあいセンターの今後につ

てご意見を頂く予定である。

問 「高齢者にやさしい町づくり懇談会」の構成員として老連の方々の参加の予定はあるか。

答 福祉課長 「高齢者にやさしい町づくり懇談会」そして、ワーキングチームそれぞれに既に1名ずつご推薦を頂き参加をして頂くことになっている。

問 高齢者福祉施設についてどう考えているか。

答 福祉課長 ふれあいセンターで行われる事業が高齢者福祉の増進に大きく寄与していると考え、今後もこの機能を維持、発展させる必要がある。町としての方針をしっかりと立てる必要があると考えている。



ふれあいセンター

学校給食費と消費税～不透明な「私」会計～ 預かっているのに申告していないのはなぜ？



三芳みらい
菊地浩二
きくち こうじ

前回の一般質問で学校給食費には消費税が含まれていると答弁があったが申告している様子は無い。学校給食は町の公の会計では取り扱われず、いわゆる私会計で行われている。また現行では学校給食の提供者が誰であるか明確ではない。不透明な学校給食費の取り扱いについて伺う。

問 平成24年度では保護者等から約803万円の消費税を預かっているが、どのように扱っているか。

答 教育長 学校給食は法令上非課税とされていないので課税対象となる。申告について川越税務署に問い合わせたところ、債権者が給食を提供している町なのか給食センターなのか明らかではないことから現行法令上では規定がないため、申告義務があるともないともいえないという見解だったので、特に申告する必要がないと解釈している。

問 では預かっている消費税はどのように扱っているか。勝手に使ってしまうのか。

答 教育長 消費税は申告する必要がないと解釈しているので、申告してい

ない。

問 申告義務がないのであれば、そもそも保護者から預かる必要もないのでは。

答 教育長 税込み方式で一応預かった部分の消費税も中に入っている。

問 税務署に問い合わせたときに消費税を預かることとは是非は問うたか。

答 教育長 聞いていない。

問 消費税は過払いの場合には申告によって還付を受けることができる。平成24年度もこの会計決算だけを見ると預かった額より支払済分の方が多い。申告して還付を受けたほうがよいと思うがどうか。

答 教育長 申告をしていない以上、還付を受けることはできない。





公明党
岩城 桂子
いわき けいこ

手話を言語として認め、環境整備の推進を！ スマートプラチナ社会の構築は！

- 問** 誰もが、障がいのある方に対してちよっとした手助けや配慮を実践することで、障がいのある方が暮らしやすい地域社会を作る「あいサポート運動」の普及啓発の取り組みはどうか。
- 答** **福祉課長** 鳥取県と連携し全庁で取り組んでいる。障がい者サポーター育成事業で住民へ周知していく。
- 問** 全国で4自治体が手話言語条例を制定しているが当町でも制定してはどうか。
- 答** **福祉課長** 聴覚障がい者団体より要望がある。条例整備を検討し、三芳町ならではの手話言語条例制定へ研究調査していきたい。
- 問** 聴覚障がい者支援として公共施設や家庭に赤色回転灯の設置はどうか。
- 答** **福祉課長** 情報伝達として重要である。今後、障がい者差別解消法により懇談会で検討していく。障がい者手帳2級の家庭には給付している。
- 問** **高齢者の元気づくりを**
スマートプラチナ社会とは情報通信技術ICT



鳥取県の手話ハンドブック

- を活用して健康で生きがいを持ち安心して暮らせる健康長寿社会を作ることである。高齢者の健康指導やサービスの提供は。
- 答** **健康増進課長** 今後の国の動向を見ていく。
- 問** 高齢者が元気に社会貢献できる介護ボランティアポイント制度の導入は。
- 答** **健康増進課長** 社協の地域ボランティアがあり現在は考えていない。
- 問** 子育て支援ITメールの情報発信で、予防接種システムの推進は。
- 答** **子ども支援課長** 関係課と連携し取り組んでいく。
- 問** 発達障がい早期発見のため5歳児健診の導入は。
- 答** **保健センター所長** 他市町の動向を注視していく。



三芳みらい
井田 和宏
い だ か ず ひ ろ

世界農業遺産認定に向けての取り組みは 認定の効果と今後の方向性について

- 問** 8月23日のシンポジウムの結果と反応は。
- 答** **観光産業課長** 約500人の方に参加してもらい、多くの前向きな意見や感想をもらった。
- 問** 更に機運を高めていくための方策は。
- 答** **観光産業課長** 農業団体との懇談や企業や大学の協力、またメディア等を有効に活用したい。
- 問** アクションプランは。
- 答** **観光産業課長** 作成中であるが、今後地元の見聞を聞き、推進協議会に諮り確定させたい。
- 問** 認定を受ける上で町民に対する効果は。
- 答** **政策推進室長** 地域に対する誇り、愛着の醸成、コミュニティの活性化につながることを期待している。
- 問** 雑木林保全の仕組は。
- 答** **政策推進室長** 様々な主体の参加が必要であると考えている。
- 問** ふるさと納税導入は。
- 答** **政策推進室長** 職員でプロジェクトチームを立ち上げ、導入に向けて検討を始めている。
- 問** 認定を受けた場合の農家側のメリットは。
- 答** **観光産業課長** 知名



- 度や農家のモチベーションアップ、後継者の育成につながるかと考えている。
- 問** 多面的機能を含めた農業の価値を発信しては。
- 答** **観光産業課長** 三富新田の価値を環境の世紀の農業として、世界に発信していきたい。
- 問** 情報発信の拠点は。
- 答** **政策推進室長** 現在の町内施設の活用を考えていきたい。
- 問** 施策や事業を総合的に考える部署が必要では。
- 答** **政策推進室長** 業務量を見極めながら検討していきたい。
- 問** 外部人材の活用は。
- 答** **政策推進室長** 今後、調査研究していきたい。



豊 坂 秋
とよ さか あき

男女共同参画事業をより一層推進すべき！ 町政へ積極的な女性参加と福祉の充実を

問 町は、男女共同参画基本法に基づき、あらゆる分野に男女の区別なく参加できるようになっているか。

答 総務課長 参加できるようになっている。

問 町共同参画推進会議からの提言書は、担当課長も加わり策定したのか。

答 総務課長 加わっていないが、意見は述べている。

問 今後提言書をどのように進めていくのか。

答 総務課長 政策決定や審議会等へ積極的に女性参加を進めていきたい。

問 一部では、男性にかたよって構成している審議会等もあるようだがどうか。

答 町長 審議内容により偏りがあるが、今後男女を問わず構成していきたい。

まちづくり懇話会について

問 懇話会での情報発信に対する参加者の意見は。

答 政策推進室長 第5次総合計画策定、デマンド交通、スマートインターの3点を情報発信したが、参加者からの意見の総計は58件であった。

問 これまでの懇話会で

出された意見について、事業へ反映したの。

答 政策推進室長 道路標識、路面標示、側溝清掃等々である。

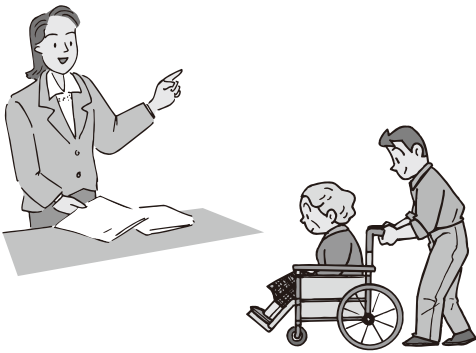
問 懇話会は、今後も継続して実施していただきたいと考えるがどうか。

答 町長 参加者が地域の役員などかたよりがあるが、継続して実施していく。出前町長室も実施しながら、幅広い意見を拝聴したい。

福祉行政について

問 エコパがオープンし2か月経過したが、いくつかの改善があるのでは。

答 環境課長 できる個所から改善したい。



日本共産党
杉本 しげ
すぎもと

気になる第6期の介護保険料はいくらに 住民の命を守る開発に伴う歩道整備が急務

問 要支援者への訪問介護と通所介護が町の事業に移行する制度改正があり、前回「三芳町は当面事業者に委託し同じサービスを行う」と答えたが両介護予防サービスに変化は無いと認識してよいか。

答 健康増進課長 第6期中に両介護サービスが町の事業に移行することにより介護予防サービス費については減ることになる。

問 介護給付準備基金の現在高と負担軽減のための取り崩し予定額と、その結果第6期の介護保険料はどの位になるのか。

答 健康増進課長 現在の基金額は1億9千万円、そのうち1億5千万円程度の取り崩しを予定。保険料は介護サービスの計画値が決まらないと難しいが、高齢者も増えており月5000円程度と推計される。

開発に伴う歩道整備

問 県道三芳富士見線の元総合病院跡地の開発に伴う歩道整備の問題が住民の大きな関心事となっている。埼玉県や開発業者への対応は。

答 道路交通課長 県に

は7月に要請したが「当該個所は事業計画がない。他の交差点改良を優先している。」との回答があった。開発業者には三芳町が先行して歩道整備をする旨を伝え、協力を求める要望書を送って協議中だ。

緑の保全・保存

問 幹線3号線沿道は雑木林が伐採され、駐車場等の開発を見る限り緑は残っていない。既存の事業所も緑地管理ができていない。強力な手立てはないのか。

答 都市計画課長 県や町の条例等では指導に限界がある。早急に緑を残すため事業者も参加する「緑化推進協議会」を設置する。

元総合病院跡地前の歩道の現状





三芳みらい
拔井尚男
ぬくいひさお

三芳町教育について

未来の子どもたちに有効で素晴らしい徳育を

問 国で重要視している道徳教育の三芳町の取組は。

答 学校教育課長 全ての教育活動全体を通して行われている。道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的実践力を養っている。各学校では道徳教育の全体計画及び年間指導計画に基づき授業を行い、体験的活動や色々な方々との交流活動を積極的に取入れ、道徳性の育成に努めており、学校公開等の場で保護者や地域の方々に展開を御覧頂いている。

問 道徳の授業ではどのような教材を使っているのか。

答 学校教育課長 副読本として小学校「みんなの道徳」中学校「中学生の道徳・自分を見つめる」その他ゲストティーチャーによる授業など工夫を凝らして魅力ある授業を展開している。

問 「私たちの道徳」は家庭学習として親子で一緒に考える教材としても利用すべきと思うがどうか。

答 学校教育課長 有効活用する点では大事である。更に家庭版「彩の国の

道徳」を全家庭に配布して活用するよう呼びかけている。

問 道徳の授業時間に不足はないか、他の教科の授業に振り替わったりしないか。

答 学校教育課長 毎年35時間を超えている。町内全校において他の授業に振り替えることはしていない。

問 国は道徳を教科へ移行すると検討しているが、今後の三芳町の徳育の方針は。

答 学校教育課長 命の大切さや他人を思いやる心、善悪の判断の規範意識や公共心の低下、いじめ問題等が指摘されている。今後も生活習慣や学習習慣を身につける取組や道徳教育の充実を図り、体験活動を通して豊かな人間性や社会性、更には道徳心向上を育む為様々な取組を推進していく。



道徳副読本



日本共産党
増田磨美
ますだますみ

入札に向けて検討会議は機能していたか

子育て支援策と保育の充実を！

公立第3保育所が定員20名増（待機児解消策）で改築される事は朗報。しかし、5月の入札不調で4月から入所できるはずだった増員分の20名は保育所に入る時期が数か月遅れてしまう。

入札不調の原因を考えると設計額Ⅱ予定価格の決め方について考えざるを得ない。建設工事大規模発注業務検討会議は、大規模事業、を適正に行うため執行部全体で考えることを目的として昨年12月に設置された会議。

問 建設工事大規模発注業務検討会議は、平成25年12月に設計業者も交えて行われたが、工法、積算、工期等の検討は行われたのか。

答 子ども支援課長 設計業務中だったため工法による審査を受けたもの。

問 今年3月に設計会社から昨年11月の概算額と同じ金額で設計額が上がってきた。その時点で調査すればオンラインピックの影響や今年2月の労務単価の上昇、資材の高騰等の状況は、わかっただけなのに、なぜ5月の入札まで一度も検討会議は開かれなかったのか。

答 町長 担当課とは話

していたが検討会議の必要性は感じていなかった。

問 3月から5月の間に検討会議で状況把握がなされしつかり検討されたならば5月の入札時に落札されていたのではないかと。補正予算で約3千万円プラスしていれば工期も遅れず追加予算も8700万円もかからなかったのではないかと。

答 町長 労務単価、資材の高騰も含めて積算されていたので大丈夫だと思っていた。3か月間工期が遅れて申し訳ない。今後気をつけたい。

その他の質問

子ども子育て支援新制度ニーズ調査と保育の充実について。



建て替え予定の第三保育所



山田 政 弘
やま だ まさ ひろ

道路整備事業の早期着工・早期完成を！ 関越自動車道側道の拡幅整備を早急に

問 関越自動車道側道の西側は舗装道で、東側は砂利道であるが、この状況はいつからなのか。

答 道路交通課長 当時の日本道路公団から移管された時点から、現状のようだと認識している。

問 西側、東側の両側道共に、車両のすれ違いができない箇所があるなど、幅員が一定ではないが。

答 道路交通課長 道路台帳上でもそのようである。

問 西側側道は、1m程の水路がある。草が覆い被さっていて、土砂も堆積しているの、早急に処理できないか。

答 道路交通課長 距離が長いので、一括処理は難しいが、現地確認して酷い箇所から順次実施していく。

問 スマートインターがフル化された際、側道は農耕車優先道路のような位置付けになるか。

答 総合調整幹 現時点では、国道、県道、町道幹線道路へ誘導する計画でいるので、側道の特別な扱いは考えていない。

国道254号右折帯整備と県道歩道整備について

問 右折帯工事の工期が9月末であるが、終わるのか。

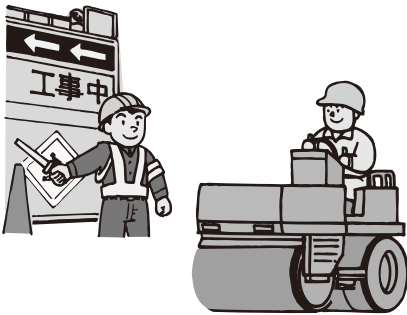
答 道路交通課長 県土整備に確認したが、10月末迄延長するとの事である。

問 県道の歩道について、病院から薬局まで歩道整備がされるようであるが。

答 道路交通課長 病院の経費をもって歩道整備を実施している。

問 県道歩道の未買収箇所の整備促進について、県当局に粘り強く要望してはどうか。

答 道路交通課長 質問の箇所は工事予定には無いが、できる限りの要望活動等を行っていききたい。



公明党
小松 伸 介
こまつ しんすけ

町民のいのちを守る防災対策について 防災備蓄品に医療器具の追加を！

問 医療器の備蓄状況は。

答 自治安心課長 応急手当用セットは備蓄している。

問 可般型の災害用医療資材・救急医療セット(診療用具・蘇生器等)を備蓄すれば避難所が仮設診療所になる。計画的に備蓄しては。

答 自治安心課長 医療器具は医師が持参するという医会との協定だが、今後医会と協議検討していきたい。

問 災害時のBCPの策定は。

答 政策推進室長 今年度中に作成を完了する予定。

問 三芳郵便局駐車場側へ緊急避難路確保の進捗は。

答 自治安心課長 郵便局と協議を重ねたが、避難路活用は困難と回答があった。

問 江川周辺の住宅は道幅狭く避難が困難。蓋かけして避難路を確保できないか。

答 町長 引き続き富士見市と話し合いを進めていく。

教育行政について

問 三芳東中の吹奏楽部

の楽器自己保有数が多いが。

答 学校教育課長 家での練習等のため購入する生徒が多いものと考える。

問 生徒の楽器購入に関して、業者の指定はあるか。

答 学校教育課長 業者指定・斡旋等は行っていない。

問 生徒の楽器購入が強制的な雰囲気になってないか。

答 教育長 教師の言葉が絶対となってしまいう場合もあるの、十分注意するよう指導していきたい。

道路行政について

問 県道三芳・富士見線の側溝蓋の改修を行い、バリフリー化を図っては。

答 道路交通課長 県に強く要望する。

問 歩道設置計画の策定を県に強く働きかけては。

答 道路交通課長 県と十分協議を行っていく。

その他の質問

ドッジボール大会について



石田 豊 旗
いしだ とよき

児童・生徒数がピーク時の40%以上減少！ 学校の統廃合を検討すべきでは

問 小学校の児童生徒一人当たりの財政負担額の差が上富小は三芳小の3.7倍と大きく、また教職員が担当する児童生徒数を比較すると上富小は三芳小の2.4倍と教職員数が多く、同等の教育を受ける権利から見て不合理ではないか。

	児童・生徒一人当たり費用	教職員一人当たり担当生徒数
三芳小学校	20,677円	15.14人
藤久保小学校	23,636円	12.30人
上富小学校	77,425円	6.35人
唐沢小学校	32,456円	13.16人
竹間沢小学校	33,888円	10.09人
小学校平均	29,138円	12.22人
三芳中学校	34,054円	9.79人
三芳東中学校	34,126円	10.94人
藤久保中学校	50,731円	8.41人
中学校平均	38,394円	9.77人

※一人当たり費用には、教職員給与は含まず。
※一人当たり生徒数は、単純平均です。

答 学校教育課長 費用面から見ると学校間で差があるが、教育の効果、学習環境、各学校の歴史や伝統、地域性、登下校の安全や通学時間等さまざまな観点より検討が必要と考える。

問 同じ教育を受けるのにこれだけ差があるのに統廃合は考えないのか。

答 教育長 平成27年4月から始まる総合教育会議で町長の考えとも調整しながら調査・研究していきたい。

問 予算編成の責任者としての考えは。

答 町長 環境が違っても、同じ教育を提供する義務がある。しかし児童生徒数の減少していく過程で統廃合を検討する余地はある。

問 「ストップ少子化・地方元気戦略」で当町は20、39歳の女性が16年後に22.8%減とある。今後若い女性に魅力あるまちづくりは。

答 政策推進室長 課題の解消に向けて国や県と施策を連動させ、また先進自治体を参考に努力していく。

問 庁舎の防火管理と災害発生時の体制について、消防署に提出した消防計画書の内容不備な箇所を指摘したが、本当に機能するのか。

答 財務課長 機能するために、日頃から教育並びに訓練を実施すべきと考える。

問 町長は、庁舎に働く職員等と来庁者を守る義務があるがどう思うか。

答 町長 火災や震災等を想定して防火管理を行ってきたが課題が見えた。人命を守るのが私の責任なので、指摘部分を早急に見直す。

を想定して防火管理を行ってきたが課題が見えた。人命を守るのが私の責任なので、指摘部分を早急に見直す。



日本共産党
吉村美津子
よしむらみ つこ

学校給食調理員の民間委託はやめるべき

昭和47年学校給食センターを設置して以来、直営方式で、安心・安全・おいしい給食を子供たちに提供してきた。

ところが、町は来年4月完成予定の新学校給食センターでは、調理員を直営から民間業者への委託方式に変える方向ですすめている。

問 県職員の栄養士と町職員の調理員との連携での取り組み状況については。

答 給食センター長 栄養士と20名の調理員は毎日昼礼で翌日の調理方法の詳細な打ち合わせを行っている。また、栄養士は、調理室で味見をしたり、野菜の切り方等指示を出したりする。

問 現在、正規職員の調理員6名は勤続10年以上のベテラン。調理員全員と栄養士との意思疎通ができていない。民間委託すると経験豊かな職員は事務等の仕事に就くことになる。民間委託について調理員の意見は。

答 給食センター長 業務委託については、話しているが意見は聞いていない。

問 『偽装請負』の問題
民間委託で現状の栄養士と調理員全員との意思疎通はできるのか。

答 給食センター長 委託では、栄養士は民間会社の責任者と打ち合わせをすることに。他の調理員に直接指示することは、『偽装請負』となり違法となる。

問 調理業務を民間委託した鳩ヶ谷市では、①アレルギー事故が発生。②栄養士の思い通りの調理が出来なくなった。③学校・調理員・栄養士の献立打ち合わせがなくなった。④手間のかかる献立が少なくなった等給食の質が低下をしている。現在の直営方式の存続は。

答 町長 民間委託方向で進んでいる。悪い点は、そうならないよう配慮する。



給食センターで働く調理職員



久保 健二
くほけんじ

世代を問わず楽しめる大型総合公園建設を 児童の生活・教育環境の改善・充実を

エアコン問題について

問 平成27年度設置予定の小学校のエアコン取り付けは、暑くなる前に出来な
いか

答 教育総務課長 1日
の大半を過ごす児童の健康
保持と教育環境の向上の観
点から設置を推進したい。

校内雑草処理について

問 雑草処理で各学校へ
の実施指導は。

答 学校教育課長 毎月
の校長会、教頭会、また教
育委員会による学校への訪
問時にも指示している。

問 学校によっては早期
実施が必要に感じるが、ど
う考えているか。

答 学校教育課長 早急
に実施するよう校長に指示
し、管理職、教員、児童生
徒による雑草処理を実施さ
せる。

大型総合公園について

問 4月より利用可能と
なった「自然の森レクリ
エーション広場」だが、以
前質問した際の答弁では、
遊歩道やランニングコース
を備えた大型総合公園とし
ての計画だったがどうなっ
たか。

答 都市計画課長 今年
度、関係機関と協議し総合
運動公園の外周に遊歩道の
実施設計の業務委託を発注
予定。

問 大型総合公園に向けて
の今後のスケジュールは。

答 都市計画課長 平成
27年度に予算を計上し工事
を着手したい。平成29年度
までに総合公園グラウンド、
多目的広場、緑地公園、自
然の森レクリエーション広
場を遊歩道で結び、一体とし
て活用出来るようにしたい。

第2保育所について

問 多くの問題点があつた
が、その後の修繕の状況は。

答 こども支援課長 修繕
箇所については、園庭の砂
の問題を残すのみ、砂の入
れ替えは10月半ばを予定。



藤久保中学校校庭の現況

夜間議会を開催しました

定例会中の9月1日
(月)に夜間議会(午後
6時～午後9時30分)
を開催し、議員3名の
一般質問を行いました。

普段、平日の昼間に行
っている議会を多くの
方に傍聴していただける
よう議会改革の一環と
して実施しています。

今後も継続して「開か
れた議会」を目指し、努
力してまいります。



請願

採択 **空襲被害者等援護法(仮称)の制定を求める意見書提出についての請願**

「趣旨」 69年目の終戦の日を迎えました。そのアジア・太平洋戦争において我が国だけでも310万人もの尊い命が奪われました。そのうちの50万人以上が民間人です。米軍機B29などによる無差別爆撃は全国200ヶ所以上の都市に渡り、罹災者は1500万人以上に及びました。

東京大空襲訴訟では原告の請求が棄却されましたが、判決文では「国会が立法を通じて解決すべき問題である」と述べています。現在超党派の国会議員連盟の再発足と空襲犠牲者等援護法(仮称)の制定を目指し、運動が取り組まれています。国の責任において、被害者・遺族の救済、被害の実態調査、資料収集・保存、追悼碑の建立等されるよ

う、「空襲被害者等援護法(仮称)」の早期成立を求める。

「審査経過」 本請願は、直接本議会で審議し、「採択」と決定した。

継続審査 **三芳野病院前にバスの停留所を新たに設置する請願**

「趣旨」 現在、住民の町内の移動手段に関しては、半数以上の世帯がバスなどの既存の公共交通機関にアクセスしづらく、人が集まる町内の施設や地域に直接行く公共交通機関もない状況です。

バス停が公共施設前にとつ増えることで高齢者の方々や病で歩行が困難な方々、買い物やお出掛けなどによる日常生活の利便性向上をかんがみ請願するものです。

「審査経過」 本請願は、総務常任委員会に付託し審査した結果、調査が現段階では不十分であり、慎重に判断すべく「継続審査」とすることに決定しました。

意見書

軽度外傷性脳損傷に関する周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書(案)について

軽度外傷性脳損傷は交通事故やスポーツ外傷等により起こる病気であり、誰でも発症する可能性のある病気である。しかし、MRI等の画像に映る事が少ないため日本では認知されていない。この病気を広く周知し、多くの患者を救済し、適切な支援が受けられるよう提案する。

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣 衆議院議長 参議院議長

「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

いわゆる危険ドラッグの使用が原因とみられる交通

事故事案が近年多く報道され、深刻な社会問題となっている。危険ドラッグは、人体への悪影響など、その危険性が指摘される一方、取締りに関する課題も指摘されている。危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策強化を求める。

(提出先) 内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣 国家公安委員会委員長

産後ケア体制の支援強化を求める意見書について

提案理由 出産で女性の心身には大きな負担が生じ十分な休養とサポートが必要だが、近年は十分な手助けを受けられない状況にある。そこで産前・産後の切れ目のない支援を行うため「妊娠・出産包括支援モデル事業」の着実な実施及び検証の上、全国で産後ケアの提供体制を構築することを求める。

(提出先) 内閣総理大臣

「手話言語法」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声でなく手や指、体の動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定することを求める。

(提出先) 内閣総理大臣

厚生労働大臣 女性活躍担当 行政改革担当 消費者担当大臣



9月定例会の傍聴者数

	日程	人数
本会議	8月27日	4
	8月29日	3
	9月1日	22
	9月2日	15
	9月18日	22
委員会	8月27日 (総務)	0
	8月27日 (厚生)	0
	9月4日 (決算)	1
	9月5日 (全協)	0
	9月5日 (広報)	0
	9月8日 (議運)	0
	9月9日 (決算)	2
	9月11日 (決算)	4
	9月12日 (全協)	0
	9月12日 (厚生)	0
	9月16日 (総務)	1
	9月18日 (議運)	0
	9月18日 (議運)	0
合計		74

「寺田寅彦」 「そのために備えあれば
うれいなし」で医療支援体制の整備、
災害は忘れたころにやってくる

(上富 Oさん)

たいへん良かったです。

(藤久保 Bさん)

会議場内が少々寒いと思いました。

傍聴席から

定例会を傍聴された方から
ご意見・ご感想をいただきました。



充実大切と思う。行政の取り組み期
待しています。(北永井 Fさん)

今回の議会は無駄な討論が多
すぎる。質問も答弁も明瞭、簡潔に
時間通りに行つて欲しい。

(藤久保 Yさん)

議案・意見書等審議

以前も書きましたが、資料が少
ない為審議内容がよく解りませ
ん。もう少し工夫をお願いします。
希望者には議員に配布されている資
料と同じ資料を傍聴者にも渡すわ
けにはいきませんか?

(北永井 Hさん)

他にもたくさんのご意見をいた
だきましたが、一部を紹介しました。

議会活動日誌

8月

- 1日 議会運営委員会
埼玉県所沢市議会議員視察来庁
- 6日 入間郡町村議会議長会臨時役員会
議会改革推進特別委員会
- 8日 総務常任委員会
- 12日 議会広報広聴常任委員会
- 19日 全員協議会
- 20日 愛知県高浜市議会総務建設委員会視察来庁
- 27日～9月18日 第6回定例会
- 27日 総務常任委員会
厚生文教常任委員会

9月

- 4日・9日・11日 決算特別委員会
- 5日 全員協議会
議会広報広聴常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会
厚生文教常任委員会
- 16日 総務常任委員会
- 18日 議会運営委員会①
議会運営委員会②

- 19日 埼玉県町村議会議長会正副会長会議
- 22日 入間東部地区衛生組合議会 議会運営委員会
- 24日 議会改革推進特別委員会
- 25日 入間東部地区消防組合議会 議会運営委員会
議会広報広聴常任委員会
- 26日 入間東部地区衛生組合議会 第2回定例会
- 29日 厚生文教常任委員会所管事務調査

10月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 入間東部地区消防組合議会 第2回定例会
- 7日 総務常任委員会
- 8日 宮城県利府町議会会派合同視察来庁
議会広報広聴常任委員会
- 15日 長野県軽井沢町議会・御代田町議会合同
視察来庁
- 15日 議会改革推進特別委員会
- 17日 全員協議会
埼玉県町村議会議長会 議員研修会
- 20日～21日 入間郡町村議会議長会視察研修
- 23日～24日 議会運営委員会所管事務調査
- 27日 総務常任委員会所管事務調査
- 29日 岩手県滝沢市議会視察来庁

報告

厚生文教常任委員会 所管事務調査



厚生文教常任委員会では7月17日栃木県足利市において、土曜日授業について調査研修をしました。足利市では平成23年度より中学校3校で「小規模特認校制度」を実施し土曜日授業の魅力ある教育活動を展開しています。また、18日は山形県米沢市の「エコポート」最終処分場を視察し、三芳町の可燃ごみが最終処分場でどのような方法で処理されるのかを調査しました。



最終処分場で説明を受けている委員

今後町に生かしたいこと

- ・教育環境構築のために土曜日授業のあり方について検討すること。
 - ・ゴミの減量化、分別の周知徹底、リサイクル、生ゴミの堆肥対策などエコ教育を推進すること。
- 大変に有意義な視察でありました。



避難訓練を実施しました。

8月27日 水



三芳町に震度6弱の地震が議会開催中に発生したことを想定し、議場での避難訓練を総務常任委員会の主導で実施しました。
写真は、議員全員と町長および職員がシェイクアウト(身を守る安全行動)と避難をしている状況です。



次の議会定例会は



11月17日 (月)

開会の予定です

皆様の傍聴をお待ちしております

議会だよりの表紙写真を募集します!

12/26 (金) 締切



詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

ホームページ <http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/>

編集後記

8月27日より定例会が開催され、当初の予定通り9月18日をもち閉会いたしました。今回の定例会でも多くの方に傍聴にお越しいただき、貴重な意見をアンケートに残していただきました。皆さまの声を今後につなげていきたいと感じております。さて毎回皆さまにご愛読いただいております議会だよりも「議会だより編集委員会」から「議会広報広聴常任委員会」となって2号目の発行となります。まだ常任委員会となっておりますが、これからも日々試行錯誤しながら、皆さまに愛されます「議会だより」を発行していけるよう委員一丸となり取り組んで参ります。

議会広報広聴常任委員会
副委員長 久保

- | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|------|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員 |
| 吉村 | 久保 | 石田 | 細田 | 小松 | 山口 | 秋坂 |
| 美津子 | 健二 | 豊旗 | 家永 | 伸介 | 正史 | 豊 |